

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング基礎実習 I			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。
担当教員	嶺脇、赤澤、中梶、永尾、井上、多賀谷			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	296時間	単位数	8単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝赤澤（ジュエリークリエイター）、嶺脇（ジュエリー作家）中梶（根付作家）			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I -1(リング制作)			
	内容	道具加工・糸ノコ切り回し／平打ちリング／甲丸リング リングの最も基本的な形状の平打ちリングと、商品に多く使われる甲丸リングの制作を通し、プロセスや使用する工具について学ぶ		
	メーキング基礎実習 I -2(覆輪留めリング)			
	内容	覆輪留めリング カボションカットの覆輪留めリングを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習 I -3(爪留めペンダント)			
	内容	ファセットカットの爪留めペンダントを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習 I -4(彫留め技法)			
内容	彫り留めリング／ピアス 小さな石を留める技法を学ぶ			
メーキング基礎実習 I -5(ヒンジバングル)				
内容	バングル制作 カシメ・ヒンジの構造の理解と制作方法			
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング造形実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。 また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。ジュエリーコンペイションではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。
担当教員	嶺脇、赤澤、中梶、永尾、井上、多賀谷			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	472時間	単位数	15単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝赤澤(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)中梶(根付作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅰ-1(ブローチ制作)			
	内容	オーバーレイの制作方法とブローチ金具の取り付け方法を学ぶ		
	メーキング造形実習Ⅰ-2(WAXリング)			
	内容	ワックス基本リング／ワックスデザインリング WAX造形技法を学び、基本形状リングの制作 テーマからリサーチし、オリジナルリングを制作する WAX原型制作から鑄造方法、仕上げまでのロストワックス技法のプロセスを		
	メーキング造形実習Ⅰ-3(ワイヤーピアス)			
	内容	ワイヤーピアス 具象物をモチーフとし、シルバー線でピアスを制作する		
	メーキング造形実習Ⅰ-4(素材×ジュエリー)			
	内容	鹿の角を使用したジュエリーの制作 環境問題からのジュエリー提案 素材の生まれる現場を知る		
	メーキング造形実習Ⅰ-5(ジュエリーコンペティション)			
	内容	ジュエリーコンペティション 1年間で習得した技法や技術を生かし、オリジナルジュエリーの制作を行う		
	メーキング造形実習Ⅰ-6(オリジナルストーンリング)			
	内容	自身でカットした宝石を留めたリングの制作		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解、アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	嶺脇、黒沢、田坂、土屋			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	208時間	単位数	7単位	到達目標 ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)、黒沢(ジュエリー作家)、田坂(ジュエリーブランドオーナー)、土屋(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン実習Ⅰ-1(デザイントレーニング①)			
	内容	デザイントレーニング		
	デザイン実習Ⅰ-2(デザイントレーニング②)			
	内容	オーダージュエリー		
	デザイン実習Ⅰ-3(製図の基礎1)			
	内容	dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解 dr6質感表現1/dr7平打ちリング		
	デザイン実習Ⅰ-4(製図の基礎2)			
	内容	dr8甲丸リング/dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造		
	デザイン実習Ⅰ-5(オリジナルストーンリングデザイン)			
	内容	自身で研磨した石を留めたリングのデザイン		
デザイン実習Ⅰ-6(製図の基礎3)				
内容	dr12サイドメレリング/dr13取り巻きリングの構造			
デザイン実習Ⅰ-7(CAD造形ペンダント)				
内容	デジタル演習(アフィニティデザイン／シェイパー3D)			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	宝石学Ⅰ			授業のねらい 宝石に関する全般的な基礎知識（流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など）を幅広く習得する。
担当教員	森			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標 広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学-Ⅰ(宝石の基礎知識)			
	内容	宝石の基礎知識		
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品量産の知識、加工方法の習得を目指す。
担当教員	赤澤、多賀谷、中林			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 新たな加工法と知識の習得に基づき、着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝赤澤（ジュエリー作家）、中林（ジュエリーブランドオーナー）			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(WAX基礎造形)			
	内容 ワックス造形			
	メーキング基礎実習Ⅱ-2(量産仕上げ)			
	内容 量産リング仕上げ、サイズ直し、磨き、石留め			
	メーキング基礎実習Ⅱ-3(マシンセッティング)			
	内容 マシンセッティングのリング制作			
	メーキング基礎実習Ⅱ-4(プラチナ石座ペンダント)			
	内容 ファンシーカットのペンダント制作			
	メーキング基礎実習Ⅱ-5(レールセッティング)			
	内容 レールセッティングのペンダント制作			
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留めする事が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング造形実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを学ぶ。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用し作品を制作する。
担当教員	赤澤、多賀谷、中林			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	480時間	単位数	14単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝赤澤（ジュエリー作家）、中林（ジュエリーブランドオーナー）			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(セットジュエリー)			
	内容	ゴム型量産によるチャーム制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-2(WAXペンダント)			
	内容	WAX原型によるペンダント制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-3(エンゲージリング)			
	内容	エンゲージリング制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-4(マリッジリング)			
	内容	K18,Ptリング制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-5(オリジナルジュエリー)			
	内容	企業連携商品群制作		
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン実習Ⅱ			授業のねらい 市場動向や指定テーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザイン・VMDまで繋げる。
担当教員	赤澤、黒澤、山田			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	176時間	単位数	6単位	到達目標 指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させる。 VMDを理解する
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝黒澤（ジュエリー作家）、赤澤（ジュエリー作家）			
授業の計画展開	デザイン実習Ⅱ-1(ポートフォリオ)			
	内容	ポートフォリオ		
	デザイン実習Ⅱ-2(デザインドリル)			
	内容	製図とレンダリング		
	デザイン実習Ⅱ-3(コレクション)			
	内容	コレクションのデザイン		
	デザイン実習Ⅱ-4(コレクションVMD)			
	内容	コレクションVMD		
	デザイン実習Ⅱ-5(プランニング)			
	内容	ブランドリサーチ、新商品企画		
	デザイン実習Ⅱ-6(CAD造形)			
	内容	3Dソフト ライノセラスを使用したジュエリーデザイン		
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	宝石学Ⅱ			授業のねらい 1年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。 ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	46時間	単位数	2単位	到達目標 各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。 ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学Ⅱ-2-1(ダイヤモンド講義)			
	内容	宝石の基礎知識、ダイヤモンド講義・実習		
	宝石学Ⅱ-2-2(カラーストーン講義)			
	内容	宝石の基礎知識、カラーストーン講義・実習		
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			